

多収米

福井の稲作を『強い粒づくり』大粒&多収でつなぐ

令和7年7月4日

JA福井県
多収米協議会

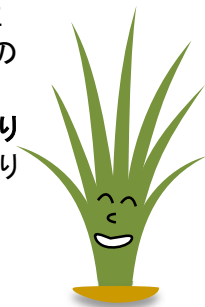
にじのきらめき速報

RAINBOW RICE

【No.7】

今年の梅雨は7月上旬には明けるのではないかと状況です。このような年は、紋枯病の発生や近年増加傾向にあるウンカ、生育後半の水不足、成熟期の赤枯病(秋落ち)等が懸念されますので、防除や穂肥等の対応について各地区営農指導員にご相談ください。

また高温少雨の状況下ではカメムシにも注意が必要です。薬剤防除だけでなく、『県下一斉草刈りデー』の2回目が7月5日(土)・6日(日)となっておりますので、ハナエチゼンの出穂前までに草刈りの徹底をお願いします。



1.生育状況について(7月2日現在)

①JA全体

栽培区分	年度	移植日(平均)	草丈(cm)	茎数(本/㎡)	葉色
移植	R7	5月10日	72.2	496.6	4.3
	R6	5月20日	62.8	598.3	4.3

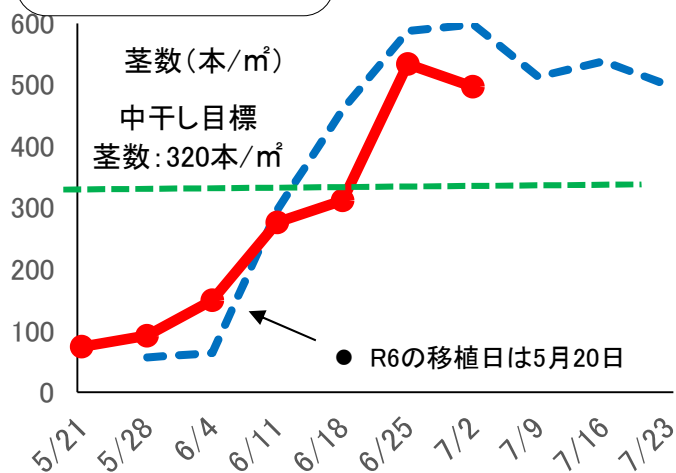
②各地区の状況

栽培区分	地区	移植日(平均)	草丈(cm)	茎数(本/㎡)	葉色
移植	福井	5/11	73.2	479.1	4.4
	坂井	5/10	69.1	515.8	4.2
	丹南	5/8	74.3	495.0	4.2

2.茎数の推移について

---R6 ---R7

平均移植日:5/10



【生育調査の状況】

- 調査結果のとおり、草丈は長く、茎数は少ない。
- 今後の生育状況によっては、倒伏軽減剤のロミカ粒剤を検討する。

3.にじのきらめきの栽培ポイント

7月中旬に幼穂形成期を迎えるため間断通水を継続し、出穂後の異常高温時(フェーン現象等)には湛水管理を実施しましょう!(作物だけでなく、自身の水分補給も忘れずに!!)

葉色に注意!!
葉色4以下にしない

7月9日頃

間断通水

7月19日頃

7月29日頃

(20日前)

(10日前)

【出穂】

[穂肥の施用について]

未熟粒や乳白粒等で低単収や格落ちにならないよう、水管理はもちろんのこと、葉色が4以下になった場合には、穂肥を施用しましょう!(N量:1~2kg)

○アグリフラッシュ(14・14・14)

施肥量:7~14kg(20kg袋)

○新エコ追肥(15・3・10)

施肥量:6.5~13.5kg(15kg袋)



県域多収米「にじのきらめき」のお問い合わせは、各地区担当営農指導員までお願いします。